

平成18年度
決算報告書

自 平成18年4月 1日

至 平成19年3月31日

国立大学法人和歌山大学

平成18年度 決算報告書

国立大学法人和歌山大学

(単位:円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	4,069,323,000	4,298,857,227	229,534,227	注1)
施設整備費補助金	23,000,000	23,000,000	-	
補助金等収入	31,345,000	56,113,510	24,768,510	注2)
自己収入	2,577,372,000	2,701,523,300	124,151,300	
授業料、入学金及び検定料収入	2,520,804,000	2,643,806,124	123,002,124	注3)
雑収入	56,568,000	57,717,176	1,149,176	注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	174,150,000	229,465,333	55,315,333	注5)、注10)
目的積立金取崩	78,927,000	9,599,900	69,327,100	注6)
計	6,954,117,000	7,318,559,270	364,442,270	
支出				
業務費	5,696,817,000	5,492,658,259	204,158,741	
教育研究経費	5,696,817,000	5,492,658,259	204,158,741	注7)
一般管理費	1,028,805,000	1,003,075,105	25,729,895	注8)
施設整備費	23,000,000	23,000,000	-	
補助金等	31,345,000	56,113,510	24,768,510	注2)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	174,150,000	229,879,553	55,729,553	注9)、注10)
計	6,954,117,000	6,804,726,427	149,390,573	
収入 - 支出	-	513,832,843	513,832,843	

注1)平成17年度中の運営費交付金収益化額が見込額より少なかったことに伴い、平成18年度へ当該債務を繰り越したことによって、決算金額が予算金額より229,534,227円多額となっています。

注2)補助金等が見込よりも多かったことにより、予算金額に対して決算金額が24,768,510円多額となっています。

注3)主として、検定料については見込よりも志願者数が多かったため、入学金については見込よりも入学者数が多かったため、授業料については見込よりも在籍者が多かったために、予算金額に対して決算金額が123,002,124円多額となっています。

注4)主として特許権等収入、成果有体物売払等の増加により、予算金額に対して決算金額が1,149,176円多額となっています。

注5)外部資金獲得に努めたため、予算金額に対して決算金額が55,315,333円多額となっています。

注6)主として、特別教育研究経費における学内負担分の繰り延べ等により、予算金額に対して決算金額が69,327,100円減少しています。

注7)人件費は退職者が予定より少なかったことにより184,244,169円、教職員が予定より少なかったこと等により115,003,251円減少しました。さらに、目的積立金取崩予定額のうち、69,299,100円が減少しました。人件費減少額及び自己収入の増分のうち164,387,779円を教育研究のための物件費に充てたため、結果として、予算金額に対して決算金額が204,158,741円少額となっています。

注8)人件費は退職者が予定より多かったことにより28,497,090円増加し、職員が予定より多かったこと等により7,060,105円増加しました。また、一般管理のための物件費は管理経費の縮減に努めたため61,287,090円減少し、結果として、予算金額に対して決算金額が25,729,895円少額となっています。

注9)外部資金獲得に努めたため、予算金額に対して決算金額が55,729,553円多額となっています。

注10)科学研究費補助金の間接経費は、決算報告書では収入の産学連携等研究収入及び寄附金収入等、支出の産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上していますが、損益計算書では経常収益の研究関連収入、経常費用の一般管理費に計上しています。